

商品名 インテバン軟膏1% 添付文書情報

一般名	インドメタシン軟膏	薬価	3.30
規格	1% 1g	区分	
製造メーカー	帝國製薬	販売メーカー	帝國製薬
薬効	2. 個々の器官系用医薬品 26. 外皮用薬 264. 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤 2649. その他の鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤		

インテバン軟膏1%の用法・用量

症状により、適量を1日数回患部に塗擦する。

インテバン軟膏1%の効能・効果

次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。

インテバン軟膏1%の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

2. その他の副作用：皮膚：（0.1%～5%未満）皮膚そう痒、発赤、発疹、（0.1%未満）皮膚ヒリヒリ感、皮膚乾燥感、皮膚熱感、皮膚腫脹。発現頻度は、市販後調査の結果を含む。

インテバン軟膏1%の使用上の注意

【禁忌】

1. 本剤又は他のインドメタシン製剤に対して過敏症の既往歴のある患者。
2. アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者〔重症喘息発作を誘発するおそれがある〕。

【重要な基本的注意】

1. 消炎鎮痛剤による治療は原因療法ではなく対症療法であることに留意すること。

2. 慢性疾患（変形性関節症等）に対して用いる場合には薬物療法以外の療法も考慮すること。

【合併症・既往歴等のある患者】

1. 気管支喘息＜アスピリン喘息又はその既往歴は除く＞のある患者：重症喘息発作を誘発するおそれがある。
2. 皮膚感染症のある患者：感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分行い慎重に使用すること（皮膚の感染症を不顕性化するおそれがある）。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。大量又は広範囲にわたる長期間の使用を避けること。シクロオキシゲナーゼ阻害剤を妊娠中期以降の妊婦に使用し、胎児動脈管収縮が起きたとの報告がある。また、シクロオキシゲナーゼ阻害剤（経口剤、坐剤）を妊婦に使用し、胎児の腎機能障害及び尿量減少、それに伴う羊水過少症が起きたとの報告がある。

【小児等】

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

【適用上の注意】

1. 薬剤使用時の注意：
 - 1) 眼及び粘膜に使用しないこと。
 - 2) 表皮が欠損している場合に使用すると一時的にしみる、ヒリヒリ感を起こすことがあるので使用に際し注意すること。
 - 3) 密封包帯法で使用しないこと。

【取扱い上の注意】

1. 火気を避けて保管すること。

【保管上の注意】

室温保存。

